

平成26年1月から給食費を改定します

子どもたちが楽しみにしている学校給食を豊かな食体験につなげます。

食材の幅を広げ、市産品を中心に旬の食材を生かす献立とし、より魅力ある学校給食を実施してまいります。



		現 行 (含消費税5%) 平成25年12月まで	改 定 後 (含消費税5%) 平成26年1月～3月	再改定後 (含消費税8%) 平成26年4月～
小学校	一食単価	210円	237円	243円
	月額 (例)	4,000円	4,500円	4,600円
中学校	一食単価	260円	287円	295円
	月額 (例)	5,000円	5,500円	5,600円

※給食費の集め方 (月額) は学校によって異なります。

本市では、平成12年度以来、給食費の改定を行わず、食材費等の上昇に対して様々な献立の工夫等により対応してまいりました。

しかし、昨年度、保護者代表や外部有識者等による「学校給食運営検討委員会」において、安全・安心な給食の提供のためには改定もやむを得ないとの報告がなされ、保護者の皆様への説明や、市議会での議論等を経て、教育委員会で検討した結果、13年ぶりに給食費を改定させていただくこととなりました。なお、旧城南町、旧植木町の学校においては今回の改定の対象とはなりません。

保護者の皆様におかれましては、ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

<問い合わせ先>健康教育課 328-2728

check! ●●●教育委員会の広報誌は熊本市のホームページでも見るができます●●●

お問い合わせ先 〒860-8601 熊本市中央区手取本町1-1 熊本市教育委員会教育政策課

TEL 328-2703 FAX 359-6951 e-mail:kyouikuseisaku@city.kumamoto.lg.jp

アドレス <http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/>(トップ→学び・観光・スポーツ→教育・学校→教育広報誌「with you」)

●気軽に相談ください！（教育相談室の相談事業）

こどもセンター「あいばる くまもと」（中央区大江5丁目1番50号）2階教育相談室では、小・中高校生の発達や就学、いじめや不登校などに関する相談をお受けしています。

◆来所相談

教育相談室にお出でいただいたの相談をお受けします。話をお伺いし、相談者の方と一緒に今後の対応について考えます。

相談日	月曜日～金曜日 9:30～15:45（要予約）
予約電話	096-362-7070（月～金曜日 9:00～17:15 祝日、年末年始を除く）

◆学校や家庭における相談

・ユア・フレンド

熊本大学教育学部から推薦された学生が、1週間に1回程度、不登校の児童生徒の家庭や学校を訪問して、話し相手や遊び相手になります。活動時間は1回2時間程度です。本年度は183人の学生が登録し、9月までに延べ597回の活動を行いました。

・スクールソーシャルワーカー（SSW）

精神保健福祉士や社会福祉士が学校や家庭を訪問し、教育相談等を行い、いじめや不登校などの予防・解決を図ります。今年度は、5人のSSWが活動しており、4月から9月までで313人の子どもについての相談をお受けしました。

・心のサポート相談員

学校教育に見識のある相談員が子どもや保護者の話し相手・相談相手になり、悩みやストレスの解消を図ります。今年度は、60人の心のサポート相談員が熊本市立の小中学校の約半数にあたる小学校46校、中学校21校で活動しています。1学期は、3,685件の相談をお受けしました。

・スクールカウンセラー（SC）

臨床心理士等が学校で専門的なカウンセリング等を行い、さまざまな問題の解決を図ります。今年度は、29人のSCが熊本市立の全42中学校で定期的にカウンセリングを行っています。1学期は1,175件の相談をお受けしました。

<問い合わせ先>教育相談室 362-7070

●市立特別支援学校の整備に取り組んでいます。

熊本市では、知的障がいのある児童生徒の学びの場を確保するため、市立特別支援学校（仮称）を設置します。児童生徒の自立、社会参加を支援するとともに、特別支援教育の拠点となり、教職員の研修や保護者等の教育相談の場となるよう準備を進めていきます。

《整備の流れ》

- ・義務教育終了後の進学先が少ないことから、高等部を先行して設置（※）
- ・特別支援学校と小・中学校の児童生徒同士が日常的に触れ合える学校をめざし、高等部開校後、藤園中学校、城東小学校内に小・中学部を併設

《高等部の概要》

設置場所	南区平成2丁目 市有地（旧南保健福祉センター隣）
設置学科	普通科・一般学級（単一障がいの生徒で構成された学級）
障がいの程度	主に重度、中度、一部軽度
定員数	開校時は1年生のみ入学 3学級（24人程度） 以後、学年進行で入学（平成31年度生徒数：72人程度）
開校予定	平成29年度



※高等部の詳細については、熊本市ホームページ（トップページ⇒学び・観光・スポーツ⇒教育・学校）の「熊本市特別支援学校高等部整備基本計画」をご覧ください。

<問い合わせ先>教育政策課 328-2703

● SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の危険性を知っていますか？

SNSとは、無料通話アプリなど、人と人とのコミュニケーションの場をネットワーク上につくるサービスのことで、スマートフォンの急速な普及によって、いつでもどこでもやりとりができるようになり広がっています。



近年、子どもたちの間でもSNSのトラブルが広がっており、ネットいじめや犯罪に巻き込まれる事件が後を絶ちません。そのような現状を受け、熊本県少年保護育成条例が改正され、保護者は有害情報から子どもたちを守るためにフィルタリングサービスの利用が強く求められるようになりました。子どもたちをトラブルから守るためにも、次のことをぜひチェックしてください。

携帯電話やスマートフォンを買い与えたりSNSを利用させたりする必要性は何なのでしょう。子どもとしっかり話し合ってみてください。

- ◆携帯電話・スマートフォン等を使用する時間帯を限定するといった家庭内のルールがありますか。
- ◆インターネット上の有害情報にどんなものがあるか知っていますか。
- ◆子どもがSNSに参加しているかどうか知っていますか。
- ◆子どもがどんなサイトを見ているか知っていますか。
- ◆インターネットに接続できるゲーム機等でもSNSに接続できることを知っていますか。
- ◆携帯電話業者が提供するフィルタリングサービスを利用していますか。
- ◆携帯電話やスマートフォンを学校に持って行かせないようにしていますか。

<問い合わせ先>総合支援課 328-2743

● 学びノート教室サポーターを募集しています！

【学びノート教室とは】

児童の学ぶ意欲や学びの習慣化を目指し、「学びノート」を活用し、基礎学力の定着を図ることを目的とした学びの場のことです。

【サポーターの役割】

教師と共に、児童の基礎学力の定着を目指し、個別の支援を行っていきます。子どもたちが、地域社会の中で、心豊かに育まれる環境づくりを推進していく上でも、サポーターの役割は意義あるものです。

【サポーターの活動内容など】

- ・活動の内容：学習指導（国語、算数）の補助（児童へのアドバイス等を行う）
- ・活動時間：平日の放課後、長期休業中など（活動日・時間は、学校によって異なります）
- ・謝礼金：1時間750円（保険あり）
- ・その他：参加校や参加時間は自由選択

【申し込み方法】

ご不明な点がございましたら、指導課へご連絡ください。
※時間帯 8:30～17:15（月～金）



<問い合わせ先>指導課 328-2721

●家庭で学力アップ！体力アップ！

《「学力アップ」のために家庭でできること》

学習・睡眠、
時間を決めて！

すっきり片づけ、
落ち着く環境！

ゼツタイやめよう！
～ながら勉強！！

上記の3つのフレーズは、家庭学習を充実させるために、子どもたちに心がけてほしいことです。

子どもたちに「確かな学力」が身につくよう、学習する時間と場所を決めて、静かな環境で取り組ませたいものです。その日の気分で、学習に取り組ませるのではなく、計画的に学習に取り組ませましょう。

家庭学習の習慣づけは、子どもたちに「確かな学力」をつけるばかりでなく、我慢強さ、根気、集中力も育むことになります。

子どもたちの学力向上に向けて、学校と家庭が協力して、家庭学習を習慣づけましょう。



小学校1年生と6年生の『学びノート』

これは『学びノート』です。小学校では、自学・自習が進められるように国語と算数のノートを作成し、全児童に配布しています。

学校では、学びノート教室などで活用しております。ご家庭でも、ぜひご活用ください。

＜問い合わせ先＞指導課 328-2721

《「体力アップ」のために家庭でできること》

熊本市の児童生徒の体力は、全国平均に比べて多くの種目で下回っている状況です。体力向上を目指して各学校では体育の授業を工夫したり、休み時間を活用した運動遊びを推進したりしています。また、11月から2月にかけて「わくわくチャレンジ長なわとびフェスタ」を全市一斉に開催し、外遊びの習慣化を図っているところです。

体力は、単に運動能力を高めることだけではなく、粘り強く学習したり元気よく生活したりできる源となる大切な力です。「運動って楽しいな」「もっとやってみたい」と感じる子どもを育てるために、親子で一緒に運動を始めましょう。

(※体力テストの「個人票」は家庭に届けています。お子さんの体力を確認してみましょう。)

熊本市立小中学生の体力テストの結果

	得意な種目	苦手な種目
小学生	20mシャトルラン、 反復横とび	握力、長座体前屈、 立ち幅跳び、ソフト ボール投げ
中学生	反復横とび、持久走、 20mシャトルラン、 上体起こし	握力、長座体前屈、 50m走、立ち幅跳び、 ハンドボール投げ

※概ね全国平均を上回る種目を「得意な種目」、下回る種目を「苦手な種目」としています。

今日から、家庭で次のようなことに取り組むぞ！！

- ① 一緒に鉄棒の逆上がりの練習をする
- ② 一緒にキャッチボールをする
- ③ お風呂上りに2人組でストレッチをする
- ④ 一緒にジョギングをする
- ⑤ 地域のスポーツ行事と一緒に参加する



＜問い合わせ先＞健康教育課 328-2728

●教育に関する「タウンミーティング」に参加してみませんか？

教育委員会では、教育委員が、直接市民の皆様と子どもの教育について語り合う機会を通じて、皆様の意向を把握し、本市の教育施策に反映するために「タウンミーティング」を開催しています。

タウンミーティングでは、教育長が教育委員会の取り組みを説明した後、「熊本市の学校教育に望むこと」をテーマに市民の皆様と意見交換を行っています。次回のタウンミーティングは、1月27日（月）の19時から龍田公民館での実施を予定しています。教育委員と一緒に子どもの教育について語り合ってみませんか？

《今までに出た意見》

- ・学校でのいじめ・不登校について
- ・道徳教育の充実について
- ・小中学校における特別支援教育の充実について
- ・運動部活動のあり方について
- ・学校通学路の整備について
- ・教職員の心のケアに対する取り組みについて
- ・学校図書館の図書整備について

※意見交換内容の詳細は熊本市HPをご覧ください。



タウンミーティングの様子

【平成 25 年度の実施状況】

- ・第4回 4月26日 西部公民館（西区）
- ・第5回 8月8日 大江公民館（中央区）
- ・第6回 10月28日 東部公民館（東区）
- ・第7回 1月27日 龍田公民館（北区）
- ・第8回 2月14日 幸田公民館（南区） 予定

※第7回タウンミーティングの詳細は、熊本市HPをご覧ください。

●教職員を対象にした「スクールミーティング」も実施しています。

教育委員会では、教育委員が、直接教育現場の実際の取り組みや教職員の声を聴く機会を通じて、様々な角度から教育現場の実態を知り、学校や教職員の意向を把握し、より良い熊本市の教育行政を推進するために「スクールミーティング」を実施しています。



スクールミーティングの様子

《今までに出た意見》

- ・学級支援員等の人的体制の充実について
- ・SNSの危険性に対する対応について
- ・エアコン設置等の猛暑への対応について
- ・ICT機器整備の充実について
- ・学校と地域との連携強化について
- ・教職員の負担軽減について

※意見交換内容の詳細は熊本市HPをご覧ください。

『特色ある学校の取り組み』の紹介

熊本市立小中学校では、日頃から特色ある学校づくりに向けて、様々な教育活動に取り組んでいます。このコーナーでは、毎回、各テーマに沿って、各学校が実施している「特色ある取り組み」を紹介していきます。各校の先生と子どもたちの生き生きとした姿をどうぞ見守り、ご支援をよろしくお願いいたします。

『環境教育』～命をはぐくむ西原まごころプロジェクト！～【西原小学校(東区)】

Q:問題

西原小学校の緑のカーテンは、今年はいくつ（何張）できたでしょうか？

- ① 3張 ② 5張 ③ 7張 ④ 9張

答えは、④番の「9張」です。西原小学校の「緑のカーテン」を設置する目的としては、次の3点です。

- 植物を育て観察することで、その成長や変化などに気付き、植物に親しみをもち大切に育てる。
- グリーンボランティアとの共同作業により、地域の人に感謝の気持ちをもつようにする。
- 緑のカーテンの設置で、室内の気温低下の効果を図るとともに、環境について興味・関心をもつようにする。

西原小学校では、このような目的のもと、年々、緑のカーテンに対する子どもたちの興味・関心が高まっています。

今年は、昨年の「5張」から「9張」に増やすことができ、南に面しているほとんどの学級へ設置することができました。今では、「緑のカーテン」は、西原小学校の環境緑化のシンボリックな存在となっています。

また、給食室近くには、「堆肥マシーン」と呼ばれる給食の残菜を堆肥に換える生ごみ処理機が2台あります。1台あたり3kg、2台で6kgまで堆肥に換えることが可能です。昨年度は、約498kgの残菜を捨てるのではなく、堆肥に換えて活用することができました。これまでは、1日平均約4kgを堆肥にしていたが、最近では、子どもたちの食べる量が増え、徐々に堆肥マシーンに入れる量が減っています。子どもたちが、命をいただくという食の大切さを学び、残さず食べるという意識がはぐくまれています。

このように「命をはぐくむ西原まごころプロジェクト！」は、自然の命を大切に、まごころを込めて環境を育み守っていかうとする取り組みです。

今後、子どもたちと共にこの取り組みを推進していきます！！



緑のカーテンと収穫の様子

教育委員のひろば



熊本市教育委員会委員

森 徳和

「信 頼」

あるベテランパイロットが、曲芸飛行のために旧式の飛行機を操縦しました。ところが、離陸後間もなくエンジンの調子が悪くなりました。ベテランパイロットは、必死に緊急着陸を試み、事なきを得ました。

トラブルの原因を調べると、燃料が旧式の飛行機には合わないことが分かりました。間違った燃料を入れた整備スタッフは、真っ青な顔をしてパイロットのもとに謝りに来ました。

パイロットは、整備スタッフに次のように言いました。「私は、スタッフが毎日、一生懸命整備してくれるお陰で、安全に飛行することができます。今回のトラブルも、スタッフが手を抜いた訳ではないと信じている。だから、明日の飛行もあなたに整備をお願いしたい。」

これを聞いた整備スタッフは、感謝して二度とミスをおかさないよう、これまで以上に頑張りました。ミスをして信頼してくれる人に、人間は惹かれるようです。

子どもたちも色々な失敗をしながら成長します。私たち大人は、子どもが失敗しても信頼し続けることが必要だと思えます。

熊本市教育委員会は、信頼に基づく教育を推し進めることを目指して、様々な取り組みを行っています。保護者や地域の方々のご意見を取り組みに反映させるために、昨年度から各区でタウンミーティングを実施しています。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

◆このコーナーでは、毎回、教育委員の教育に関する思いや抱負を紹介します。